

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和5年度第1回高松市男女共同参画推進懇談会
開催日時	令和5年8月31日(木)14時30分～15時30分
開催場所	高松市役所11階114会議室
議 題	(1) 令和4年度「たかまつ女性活躍促進事業」実施報告について (2) 令和5年度「たかまつ女性活躍促進事業」実施計画について (3) 「第5次たかまつ男女共同参画プラン」の令和4年度における進捗状況について (4) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	柴田会長、橋本副会長、石原委員、加藤委員、後藤委員、高橋委員、谷川委員、中村委員、仁賀委員、原田委員、藤澤委員、藤本(正)委員、藤本(裕)委員
傍 聴 者	1人    (定員 5人)
担当課及び連絡先	男女共同参画・協働推進課 (839-2275)

### 会議経過及び会議結果

#### (1) 令和4年度「たかまつ女性活躍促進事業」実施報告について

(事務局説明)

(会長)

昨年度に引き続き、委員の皆様には、事前に質問をいただいている。議題(1)についての事前質問等がある場合は事務局から説明をお願いする。

#### (2) 令和5年度「たかまつ女性活躍促進事業」実施計画について

(事務局説明)

(会長)

議題(2)についての事前質問等がある場合は、事務局から説明をお願いする。

**(3)「第5次たかまつ男女共同参画プラン」の令和4年度における進捗状況について**

(事務局説明)

(会長)

議題(3)についての事前質問等がある場合は、事務局から説明をお願いする。

(事務局説明)

(委員)

高松市防災会議の令和4年度における女性委員の実績値について、資料では、10%と書いてあるのに対し、内閣府の「市区町村女性参画状況見える化マップ」においては、5.9%となっており、数値が異なっているのはなぜか。

(事務局)

本市防災会議は、充て職での選任が大半を占めており、人事異動等に伴い、その都度委員の変更がある。本市では、全庁的に女性委員の登用に取り組んでおり、女性委員が増えたことにより、割合に乖離が生じたものと考えられる。令和4年度当初の数値を、見える化マップの出典元のデータとして提出した後に、委員の変更があり、女性委員が増え、その結果、4年度における最終の実績は10%となった。

(委員)

事前質問・意見及び回答の3ページにおいて、男性の育児休業の取得率の公務員の目標として、1週間以上の取得率が85%と設定しているが、「育児休業」ではなく、「育児休暇」の間違いではないか。

(事務局)

担当課に確認し、追って回答する。

(委員)

資料 3 - 1 の 8 ページの「農業委員会における女性の登用推進」について、令和 5 年度に委員の改選があったと思うが、結果、どの程度女性委員が増えたのか知りたい。

(事務局)

担当課に確認し、追って回答する。

(委員)

同ページの「女性の人材育成のための学習機会の充実」について、男女共同参画センターにおいて、女性のための就労支援講座を実施したとある。参加者数 26 名のうち、何名が就労につながったのか知りたい。

(事務局)

何人がこの講座を受けて、就労につながったかまでは把握していない。本講座は、就労につながるスキルアップを図る講座としてまでは計画をしておらず、就労への意欲を促すといった何かのきっかけになればと考えている。

参加人数が少ない内容のものもあるので、講座内容の充実を図り、新たな受講者を呼び込めるよう PR 等も検討してまいりたい。

(委員)

先ほどの質問に関連して、講座の受講者には、アンケートを取っているのか。

(事務局)

取っている。

(委員)

アンケート結果を今後の講座にいかしていただきたい。

(委員)

資料 3 - 1 の 16 ページの放課後児童クラブ事業について、私は放課後児童クラブに手伝いに行っているが、現在、申込人数が非常に多く、低学年の子が家庭で 1 人であるのは困るという理由で、1、2 年生の低学年ぐらいしか預かることができないと聞いたことがある。一方で、私の周辺では、3、4 年生も入りたいという希望を聞くことがある。

実際、待機児童の集計はどのように行っているのか、また、それぞれの学校ごとに申込があるのか教えていただきたい。

(事務局)

担当課に確認し、追って回答する。

#### (4) その他

(事務局)

次回開催予定について、1月下旬に開催を予定している。

(会長)

全体を通して、意見等はないか。

(委員)

男性の育休の取得期間について、全国平均は数週間であり、1か月以上取得した人はほとんどいないのが現状。市の職員についても、男性で育休を取得する人が増えているのは非常に良いことだが、その中身を重視していただきたい。

例えば、育休レポートみたいなものを提出してもらい、それを社内報みたいな形で発信することで、女性の共感も得られるし、本人も意識を持って取り組んでくれると思うので、良ければ検討いただきたい。

(事務局)

担当課に御意見を伝えさせていただき、共に取り組んでいきたい。

現在、職員向けのインフォギャラリー等で、男性の育児休業・休暇の取得促進の呼び掛けを行っており、中には年単位で取得している職員もいる。今後も継続して働き掛けを行っていきたい。

(委員)

これまでは、男性が育休を取得することに重きが置かれていたが、徐々にその中身に重きを置くよう移行しているように考えられる。今後も是非考えていただきたい課題である。

(閉会)